



# 六環協ニュース 第4号

六甲山環境整備協議会 2007年2月25日発行

## 【3月の活動予定】

**3月17日に、第2期整備計画を仕上げます。  
ごっそってご参加ください。**

3月17日(土)10~12時に、第7回の整備作業を実施します。記念碑台下の近畿自然歩道の入り口に覆い被さるツルの伐採と散策コースの枯れ枝切りを行います。

参加ご希望の方は10時に「六甲山YMCAロビー」に集合してください。作業用の道具類は用意していますので、初心者の方や一般市民の方も歓迎します。

詳細は事務局にお問い合わせください。

※なお、当日の午後1時からは第48回六甲山魅力再発見市民セミナー「六甲山・摩耶山の活性化について」(講師:今西淳二さん)も開催しますので、引き続きご参加ください。

## 【1~2月の活動報告】

### 1~2月は第2期環境整備計画を推進

六甲山の冬季シーズンも近畿自然歩道の環境整備作業を継続しています。第2期環境整備計画として、散策コースを数区画に分けて、密生したアセビの枯れ枝切りや、ツルの伐採などを行い、環境整備の方針も検討しました。



山道に覆い被さったツタの枯れ枝を伐採

1月下旬から2月初旬には、子どもを対象にし、六甲山の冬を味わえる活動フィールドを設定するとともに、2回の子どもの自然探索の環境学習を支援しました。

### 「六甲山の冬をあそぼう・3」で自然散策支援

1月21日(日)に、「六甲山自然保護センターを活用する会」が主催し、恒例の「六甲山の冬をあそぼう・3」を実施しました。子どもとスタッフ129名が、六甲山小学校を拠点に六甲山の冬を探索しました。今年は暖冬で雪や氷に恵まれませんでした。近畿自然歩道周辺の小池の一角を自然探勝フィールドとして、安全ロープや標識で囲って案内しました。子どもたちは薄氷の張った池で喜々としてたわむれました。

同時に、自然環境の保全と子供たちへの開放について意見の相違も生じました。今後も検討していく課題とみなしました。



薄氷が張った池に集う子どもたち

### 「子どもパークレンジャー」で自然探索の支援

2月4日(日)には、環境省が第1回の「子どもパークレンジャー」を主催しました。「活用する会」が企画・運営を担当し、六甲山小学校と「フィールド・オブ・ゆう」の協力や関係者の支援を得て、小学4~6年生20名を集めて実施しました。

前日の冷え込みに恵まれて六甲山上はうっすらと雪化粧をしていました。午前中は近畿自然歩道と周辺の自然探勝フィールドで冬芽の調査を行いました。

午後はホダギの中に棲む冬の昆虫探しで熱中しました。六甲山の自然環境を生かす独創的な体験学習プログラムを考案しました。今後も継続的に子どもパークレンジャーを育てる活動を進めていく予定です。



小池の周辺で冬芽探し



ホダギの中の虫探し

### 2月の整備作業で「荒ゴミ投棄」を発見

2月17日の午前中は1月に引き続き、近畿自然歩道沿いの枯れ枝切りを行いました。また、記念碑台下の近畿自然歩道入り口部に覆い被さるツルの伐採にも着手しました。作業が大がかりになるので一時中断して、3月に作業を継続します。



ボランティアの仲間



投棄された荒ゴミ

整備作業の際に、山道の北斜面に家庭の荒ゴミが投棄されているのを発見しました。このままではササ藪がゴミ捨て場にされる恐れがあります。ゴミ捨て防止とゴミの撤去・清掃を本格的に実施する緊急事態が生じました。

### 【これからの活動計画】

#### 平成19年度計画を展望して整備作業を実施

平成19年度は第2年度の環境整備計画を実施します。対象の地域を実測調査して水生動物や植物を継続的に観察・観測する予定です。近畿自然歩道沿いを区画割りして、特色のある植生や景観を同定して維持・保持するとともに、環境の整備も進めていきます。新たに突発した投棄ゴミへの対策を検討します。

また、安全で快適な散策コースに整備し一般市民の活用を促進することも考えます。このような観点から環境整備計画を立案しながら、初年度の整備作業の仕上げに取り組みます。

(文責:堂馬英二)

発行:六甲山環境整備協議会・事務局(六甲山自然保護センターを活用する会)

〒657-0028 神戸市灘区森後町 2-1-3 ワークスタイル研究所内 TEL:078-856-4756/FAX:078-856-6616

E-mail:info@rokkosan-katsuyo.com http://www.rokkosan-katsuyo.com/

※この活動には公益法人自然保護ボランティアファンドの助成金が交付されています